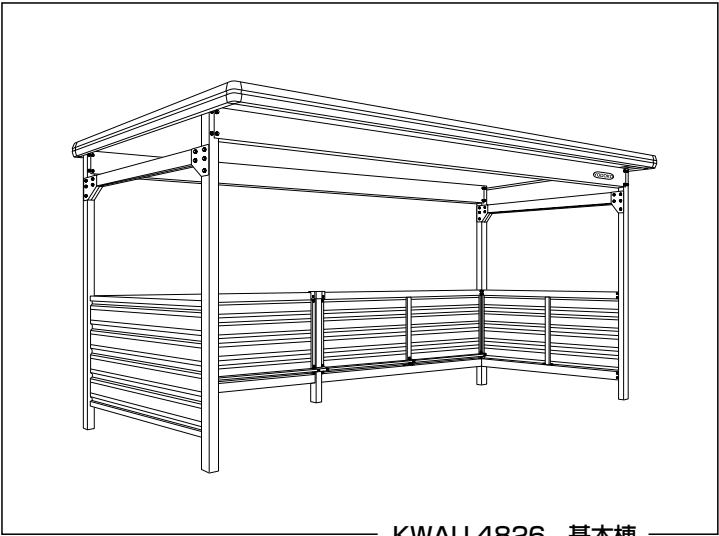


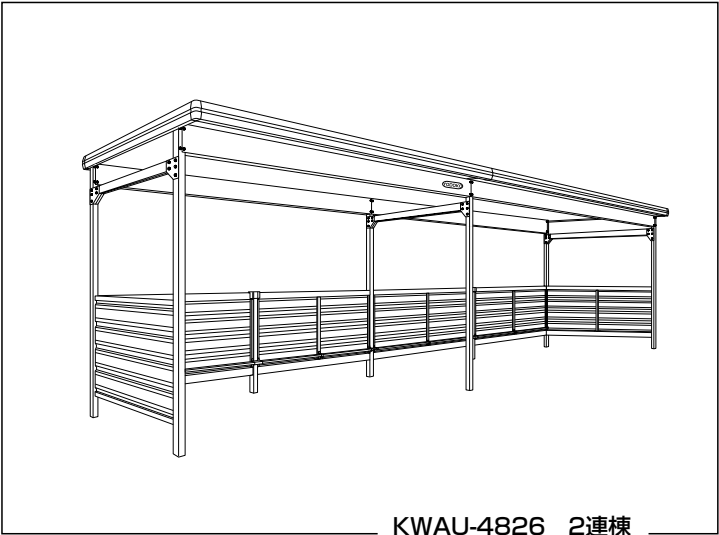
ヨド自転車置場

KWAU(豪雪地型)組立説明書

このたびは「ヨド自転車置場」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



KWAU-4826 基本棟



KWAU-4826 2連棟

設置場所の制限

- △注意
- 建物の屋上には設置しないでください。
 - 避難通路にあたる場所には設置しないでください。
 - 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
 - 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
 - 給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

- △注意
- 転倒防止工事を必ず行ってください。
 - 仮組み用のアンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）は別途用意してください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要ときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

- 1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、すべて、銅製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
【安全のため必ず手袋を着用してください。】
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表				
梱包名	梱包番号	梱包重量	KWAU-4826	
			基本棟	追加棟
部 品	KW1-0102	23.0	1	
	KW1-0152	15.0		1
	KW1-0402	36.0	1	
	KW1-0404	36.0	1	
	KW1-0406	36.0		1
支 柱	KW1-0421	16.0	1	1
柱 補 強	KW1-0451	24.0	2	1
桁	KW1-0503	40.0	1	1
	KW1-0504	40.0	1	1
	KW1-0505	36.0	2	2
	KW1-0602	33.0	1	1
胴 縁	KW1-0603	27.0	1	
	KW1-0902	15.0	8	8
	KW1-0952	8.5	1	
屋根部品	KW1-0954	8.0		1
	KW1-1002	16.0	1	1
壁 ※1	KW1-1003	14.0	1	
	KW1-1101	9.0	1	
鼻 隠 し	KW1-1103	9.0		1
	KW1-1121	17.0	1	
ケ ラ バ	KW1-1601	18.0	2	1
計			27	21

※1 壁梱包にはTS（チタニウムシルバー）・OR（ハッピーオレンジ）・GR（ポップグリーン）の3色があります。色があっている事を確認してください。

梱包内容表

●部品梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0102	鼻 隠 しコーナ ー 樹脂	2
	ケ ラ バ コ ー ナ ー	2
	コ ー キ ン グ	1
	鼻 隠 し 補 強 金 具	1
	連 結 金 具	2
	アンカープレートN	5
	鉄 筋 1 0 φ × 3 5 0	5
	ボ ル ト セ ッ ト 一式	1
	CB三角プレート右(左)	各4
	C B 支 柱 キ ャ ッ プ	1
	車止めブラケット(1)	4
	CB車止めブラケット(4)	1
	補 修 塗 料	1
	銘 板	1
	組 立 説 明 書	1
KW1-0152	取 扱 説 明 書	1
	保 証 書	1
	鼻 隠 し 補 強 金 具	2
	鼻 隠 し 接 続 金 具	1
	連 結 金 具	2
	コ ー キ ン グ	1
	アンカープレートN	3
	鉄 筋 1 0 φ × 3 5 0	3
	ボ ル ト セ ッ ト 一式	1
	CB三角プレート右(左)	各2
	C B 支 柱 キ ャ ッ プ	1
	車止めブラケット(1)	2
	CB車止めブラケット(4)	2

●柱梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0402	C B 柱 前 U 左 2 8	1
	C B 柱 後 U 左 2 8	1
	C B 柱 前 U 右 2 8	1
KW1-0404	C B 柱 後 U 右 2 8	1
	C B 柱 前 U 中 2 8	1
KW1-0406	C B 柱 後 U 中 2 8	1

●支柱梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0421	C B 支 柱	1
	間 柱 (K N) 背	2
	額 縁 (K N) 右、(左)	各2

●柱補強梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0451	C B 柱 補 強 2 8	2

●桁梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0503	C B 桁 4 8 S	1
KW1-0504	C B 桁 4 8 S P L 4 5	1
KW1-0505	C B 桁 補 強 4 8	1

●胴縁梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0602	C B 胴 縁 A 2 4	1
	C B 胴 縁 B 2 4	1
	C B 胴 縁 C 2 4	2
	C B 車 止 め バ イ プ 2 4	2
	C B 廻 し 縁 2 4	2
	C B 胴 縁 C 2 0	4
KW1-0603	間 柱 (6)	2
	額 縁 (6)	4
	C B 廻 し 縁 2 0	2

●屋根梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0902	C B 屋 根 U 2 6	1

●屋根部品梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0952	端パネル受フレームB-N	4
	端パネル受フレームA	4
KW1-0954	パネル受フレーム88-I型	14
	端パネル受フレームA	6
	パネル受フレーム88-I型	14

●壁梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-1002TS	C B 壁 2 4 T S	2
KW1-1002OR	C B 壁 2 4 O R	2
KW1-1002GR	C B 壁 2 4 G R	2
KW1-1003TS	C B 壁 2 0 T S	2
KW1-1003OR	C B 壁 2 0 O R	2
KW1-1003GR	C B 壁 2 0 G R	2

●鼻隠し梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-1101	C B 鼻 隠 し 4 8 - A	1
KW1-1103	C B 鼻 隠 し 4 8 - B	1

●ケラバ梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-1121	C B ケラバ左 (右)	各1
	C B 上 枠 左 (右)	各1

●梁梱包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-1601	C B 梁 2 0	2

オプションペフ付屋根（標準屋根板と差し替え）

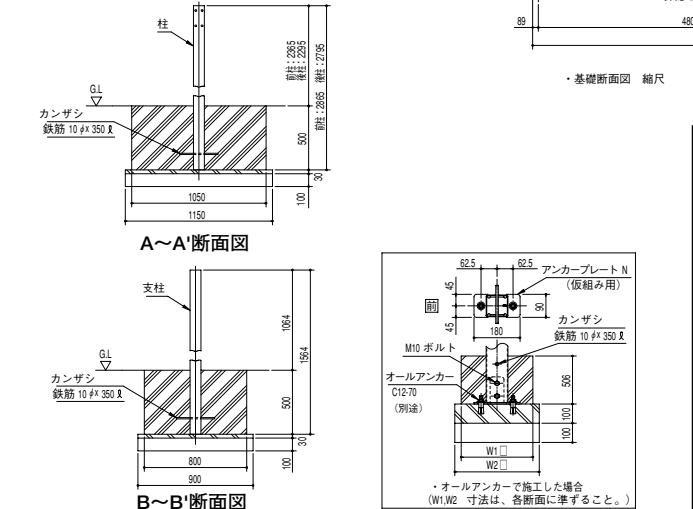
梱包名	梱包番号	KWAU-4826	
		基本棟	追加棟
CB屋根Uペフ付	KW1-0912	8	8

■基礎平面図・基礎断面図

柱を建てる際に付属の仮組み用アンカープレートNを使用する場合としない場合を選択できます。
アンカープレートNを使用する場合は別途アンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）が必要となります。

【注意】アンカープレートNは強度部材ではありませんので、使用しても基礎寸法を小さくすることはできません。

※仮組み用アンカープレートNを使用する場合は【2 柱の建て方】アンカープレートN孔位置図を参考にしてください。

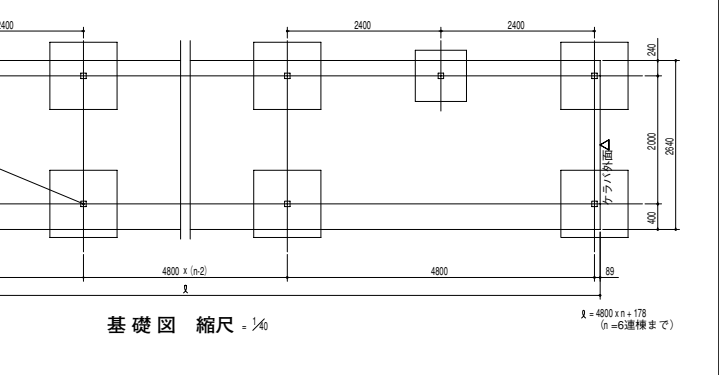
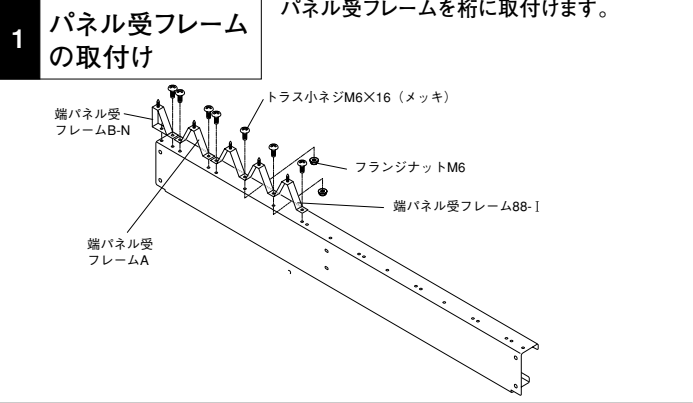


※基礎・転倒防止工事については標準的施工方法とします。
軟弱地盤や、寒冷地等に設置する場合は、地域の実情に合わせてください。

■組立に使用するボルト一覧（実物大）

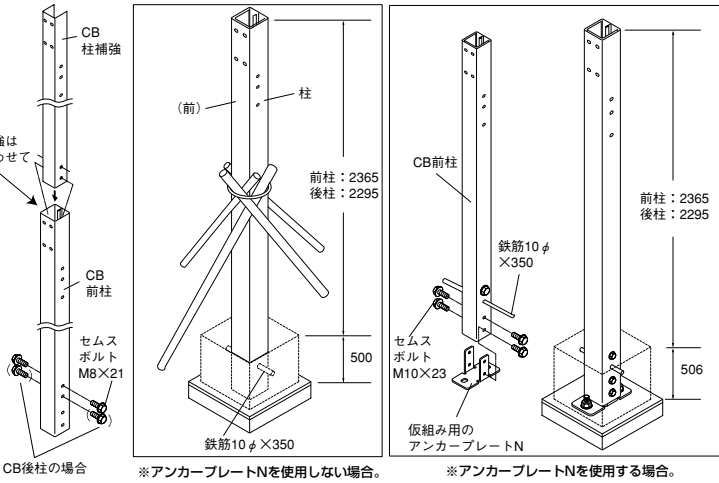


※組立て部材には保護フィルムを貼付けてあるものがあります。
必ずしがしてから組立を行ってください。

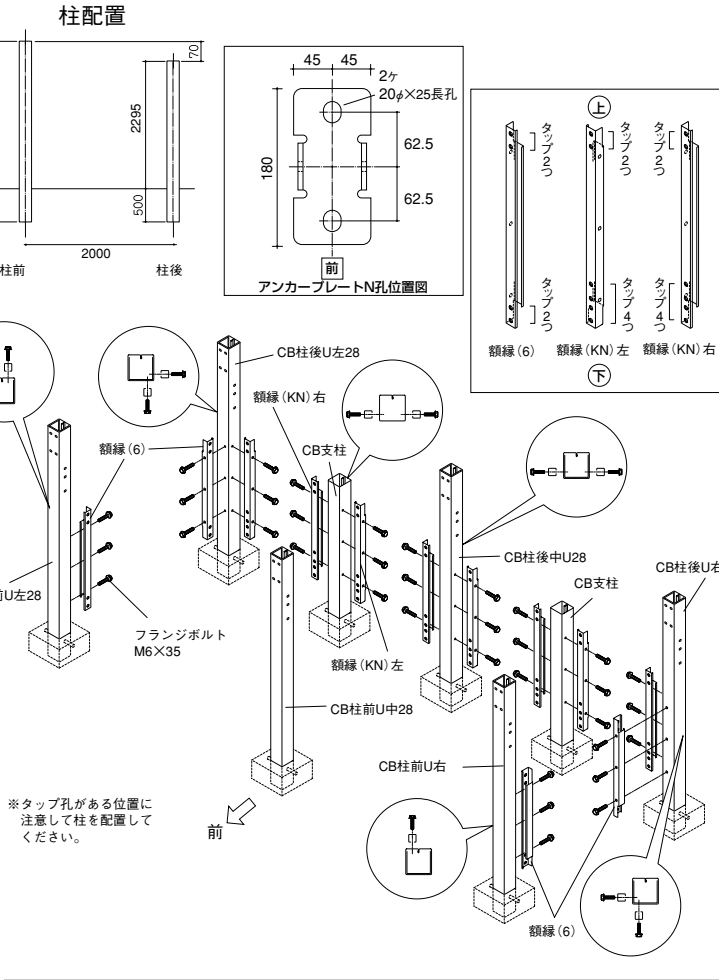


2 柱の建て方

基礎図に従って、柱を建てます。

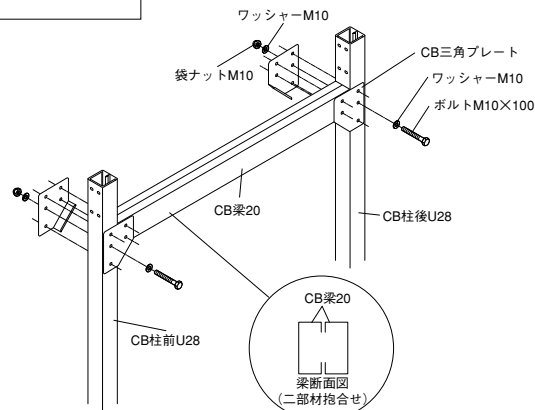


柱は自立しませんので、上図部の様に、
注意 倒れない工夫をしてください。



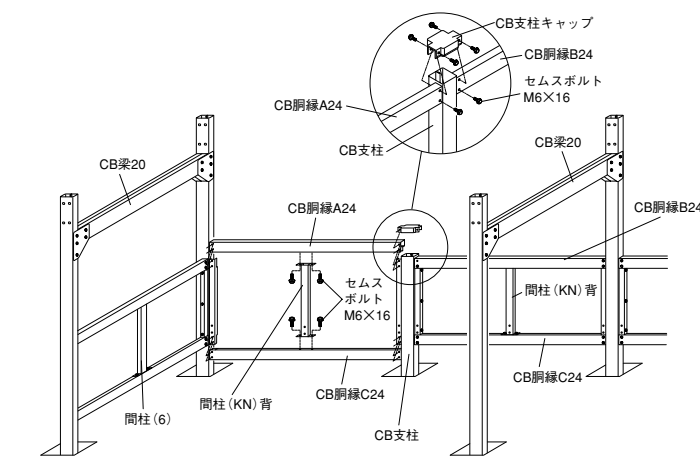
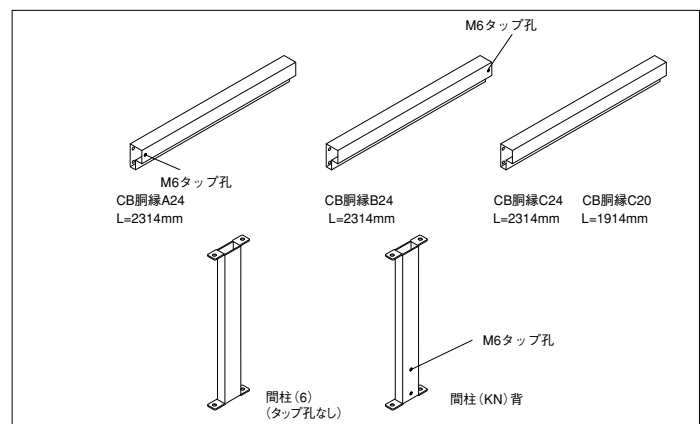
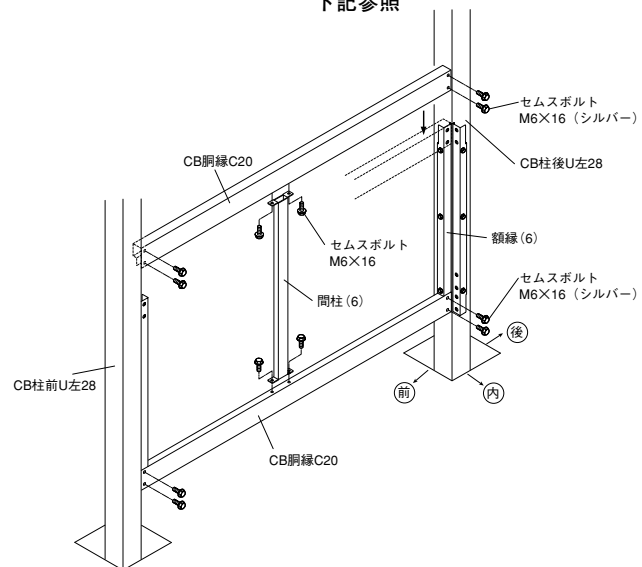
3 柱と梁の連結

①柱と梁を三角プレートではさみ固定します。



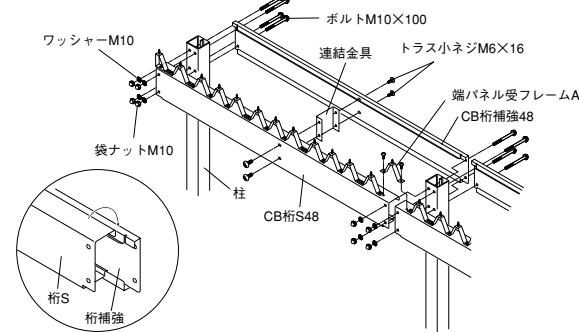
4 胴縁・間柱の取付け

①胴縁を額縁に取付けます。
②間柱を胴縁に取付けます。
※額縁・胴縁には種類があります。
下記参照



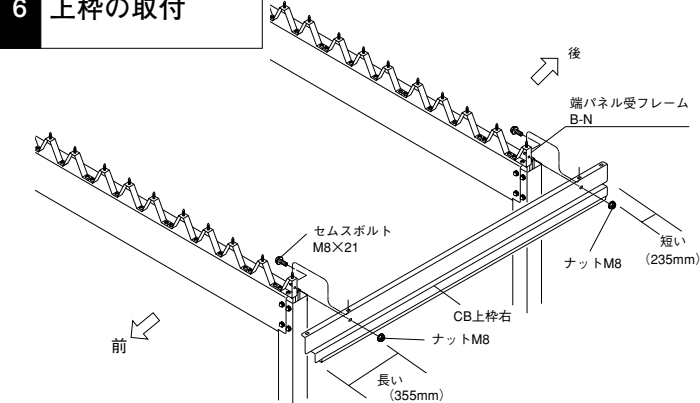
5 桁の取付

桁を柱に取付けます。
連結部には、端パネル受フレームAを取付けます。



6 上枠の取付

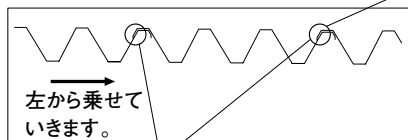
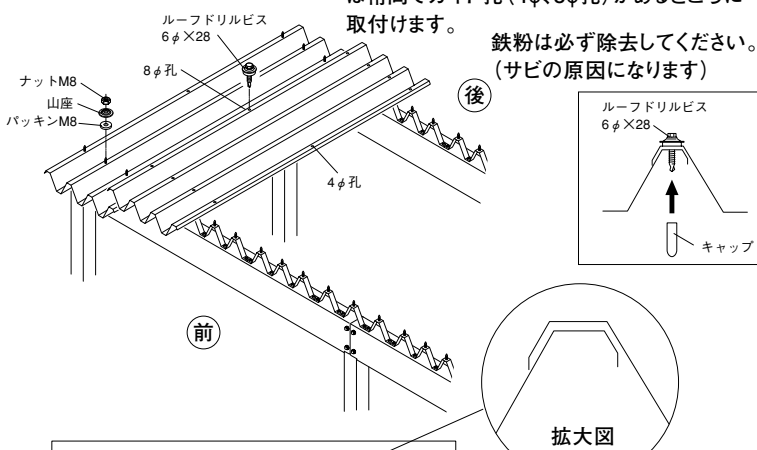
上枠を端パネル受フレームB-Nに取付けます。



7 屋根の取付け

屋根を左から乗せていき、ナットで固定します。
屋根の重ね部にルーフトドリルビスを打ち込み、
下からキャップをかぶせます。ルーフトドリルビス
は桁間でガイド孔(4φ、8φ孔)があるところに
取付けます。

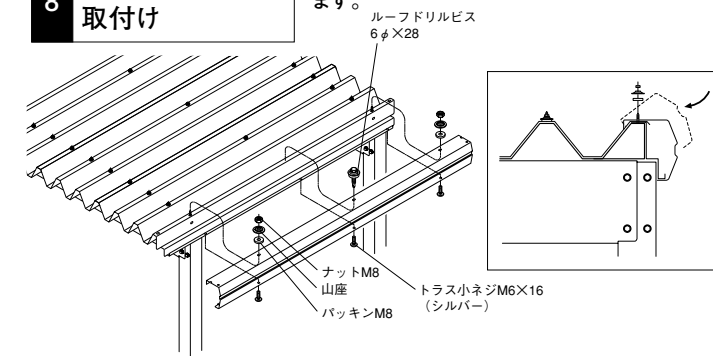
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)



⚠ 屋根にはかぶせ側がありま
注意 すので注意してください。

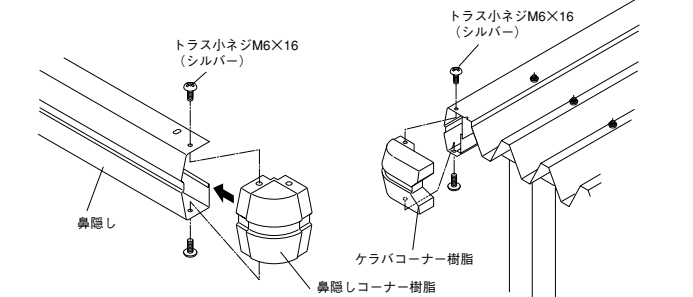
8 ケラバの取付け

ケラバを図の様に上枠にかぶせる様に取付け
ます。



9 コーナー樹脂の取付け

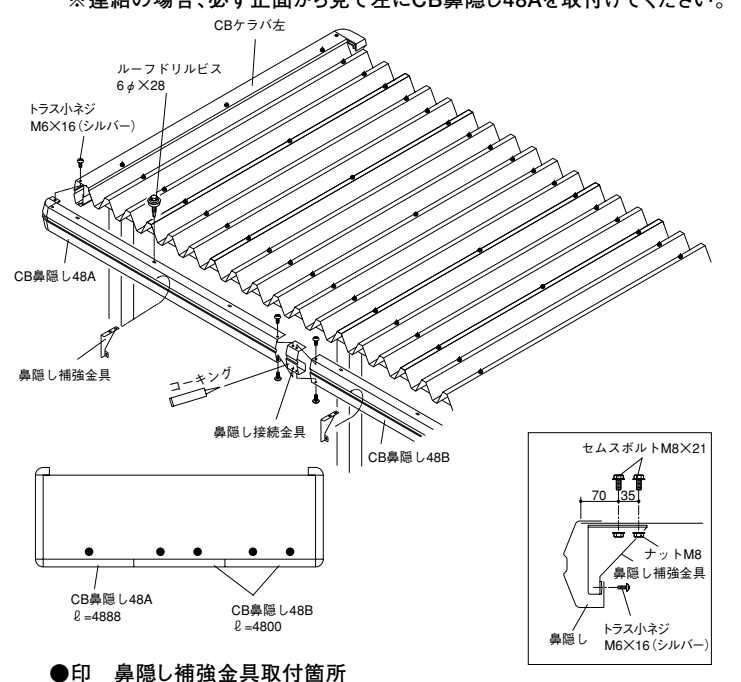
コーナー樹脂を鼻隠しのコーナー部に取付け
ます。後のケラバ端部には、ケラバコーナー樹
脂を取付けます。
※鼻隠し配置は10鼻隠し取付けを参照してくだ
さい。



10 鼻隠しの取付け

①鼻隠しをケラバに取付けます。接続金具部
にはコーキングを施してください。
②鼻隠しを鼻隠し補強金具に取付けます。
③屋根には、鼻隠し補強金具の孔に合わせて、
10φの孔加工をしてください。(下図参照)
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)
④鼻隠しをルーフトドリルビスで屋根に固定して
からキャップをかぶせます。

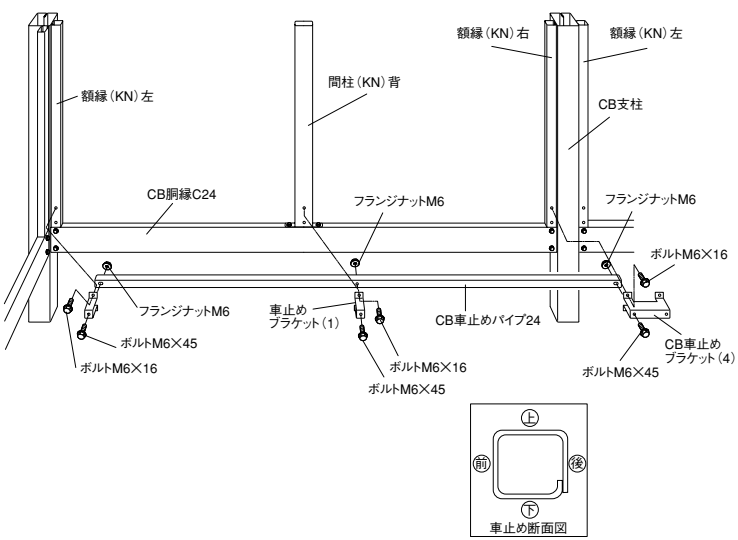
※連結の場合、必ず正面から見て左にCB鼻隠し48Aを取付けてください。



●印 鼻隠し補強金具取付箇所

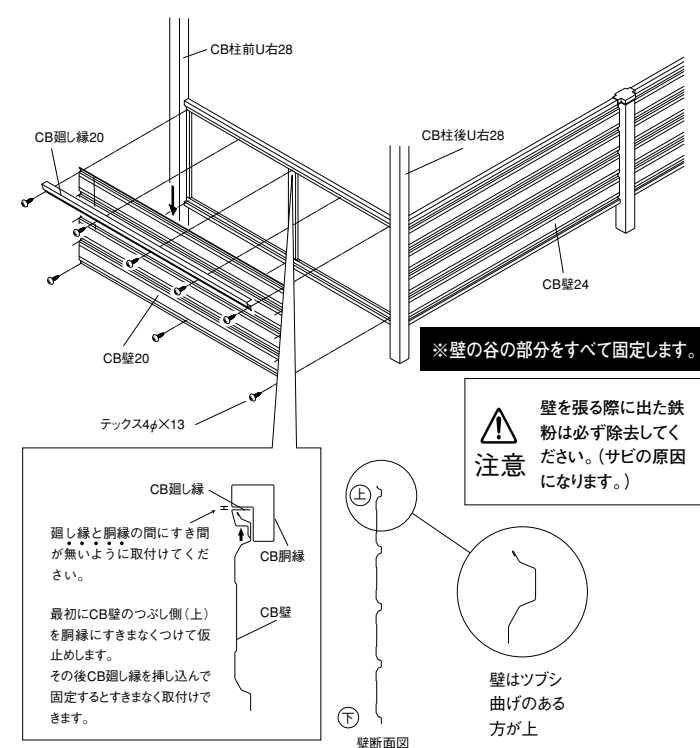
11 車止めパイプの取付け

①ブラケットを車止めパイプに取付けます。
②車止めパイプを額縁(KN)左(右)、間柱(KN)
背に取付けます。



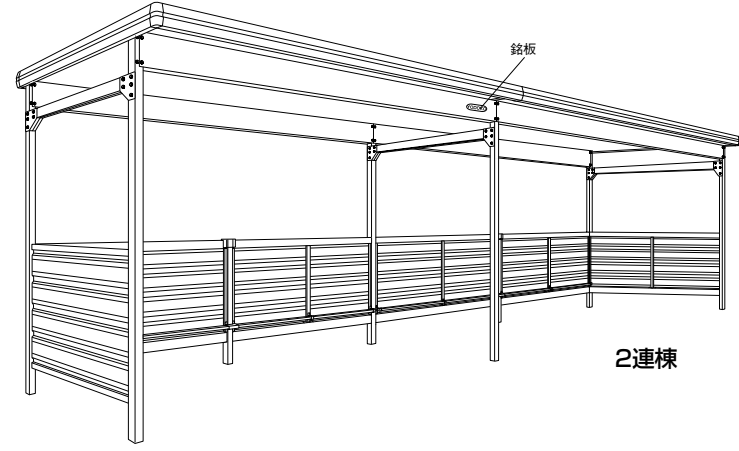
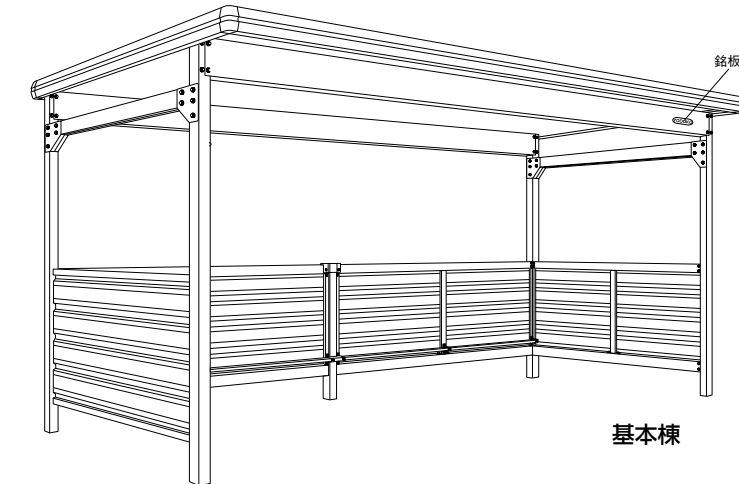
12 壁の取付け

壁を外側から張り付け、廻し縁と一緒にテック
スで胴縁・額縁・間柱に固定します。



13 完成図

最後に銘板を貼り付け、柱をモルタルで
固定し、安全を確認してから、柱の支えをはず
してください。



※以上で完成です。ボルトの締め忘れがないかを確認してください。

お客様へ

組立説明書と取扱説明書
は大切に保管してください。

施工業者の方へ

取扱説明書は大切な書類です。
本書と取扱説明書は、
必ずお客様にお渡しください。

ヨド自転車置場
KWAU(豪雪型型)
ヨド川製鋼
(2005.10月制作)